風紋

2018 No.551（9月号）

浜岡砂丘

新体制で新たな時代を築いてほしい！

㈱増田組 会長 増田 清人

この度、平成三十年七月三十一日の臨時株主総会で、代表取締役社長を増田慎平に交代し、会長職に就任する事になりました。社長在任中は従業員の皆さんはもちろん関係先の皆様にも大変お世話になり感謝申し上げます。

私は、昭和五十六年に北海道より増田組に戻り三十七年務めてまいりましたが、最近の建設業を取り巻く環境は大変厳しい為、若い人の感覚で経営を行うことが良いという理由で交代を決断しました。

特に他産業も同様ですが、建設業の人手不足は顕著であり今後の経営にとって最大の問題であると思っています。私が勤務していた前半はバブル景気で良い時代を味わってきました。その時代も人手不足ではありましたが、その後は建設業の冬の時代が長く、新規採用がしたくてもできないことや、若者の建設業離れが進んだことで技術、技能者の高齢化が進み新規入職者が激減したことが建設業にとって構造的人手不足状態に陥ったと思っています。建設業界の景気はやや回復基調にありますが、人材の確保という新たな課題をクリアしていかなければ会社の継続的経営は困難になっていくだろうと考え、思い切って社内を変えるために若い人の発想や感覚で業務改善を行い会社の雰囲気や職場づくりを行い、新しい増田組を作ってもらいたいと考えました。

私自身は会長職で残りますが、新社長の意見や考えを尊重する為に経営の第一線からは退き、新社長を中心に新たな新体制を陰ながら支えていければ良いと思っています。

新社長にお願いすることは、創業から百六年が経つ増田組の「すべてに心をくばる」精神を継続し、地元にしっかりと根付き堅実経営を基本に様々なチャレンジをしてほしい。結果、増田組が継続し従業員が幸せになることを目標に努力してほしいと思っています。従業員の皆さんには今後も若い新社長を支えていただき、近在にない「新生 増田組」を築いていただきたいと思います。

関係各位には今後も増田組に変わらぬご愛顧をお願い申しあげますと共に、四代目社長になりました増田慎平に対しご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げて社長退任のご挨拶といたします。

ホームページアドレス

http://www.masudagumi1912.co.jp

カタログパーク http://www.hamaoka.or.jp/masuda.html

9/1は『防災の日』

ご存知の方が多いと思いますが九月一日は『防災の日』です。各自治体で防災訓練が計画されていると思います。

防災の日が制定された起因は、一九二三年九月一日に発生した関東大震災での死者行方不明者十四万人以上という惨事を教訓として、防災意識を高めるために一九六〇年に日本政府が制定しました。

防災の日は『台風や高潮、津波、地震等の災害について認識を深め、それらの災害について対処する心構えを準備する』ことを目的として定められました。

近年では、地震はもとより局所的な大雨の被害もよく耳にする機会が多いと思います。

今年の六月二十八日～七月八日には活発化した梅雨前線と台風七号の影響で西日本を中心に広い範囲で影響を及ぼし、現在も行方不明者の捜索が続いています。

今年は台風が多く発生することが想定されています。『備えあれば憂いなし』という言葉があるように、防災の日をきっかけに各家庭でも防災用品、避難経路、自治体の避難場所の確認などを念入りに行いましょう。

池新田高等学校 インターンシップを迎えて

八月八日から八月十日の三日間で、池新田高等学校より二年生二名が当社へ就業体験で来ることになり、実際に工事現場に出て、建設の仕事を体験してもらいました。

本人感想一

私は増田組で大変貴重な体験をさせてもらいました。

初めは、土木というものがどんなものなのかも分からず、楽しみと共に少し不安もありました。しかし、増田組の社員の方々はとてもとても優しく仕事の話をしている中で楽しい話や、プライベートの話などもしてくれて、気を和らげてくれました。そのため自分が質問したいことや、疑問に感じた事など、抵抗なく聞くことができました。

自分の興味がある職業でもたくさんの疑問があり、興味があるだけだと全然駄目だなと感じました。

インターンシップで増田組に来てたくさんの興味が生まれました。また一つの目標として、土木や建築で使える資格もたくさん取れるようになりたいと思いました。この興味や目標をくれた増田組に将来たくさん貢献出来たらいいなと思いました。

本人感想二

私は増田組で会社の厳しさや、仕事のやりがいや楽しさ、辛さというものを学ばせてもらいました。

仕事のやりがいは、自分たちで作った物が十年や二十年、形が残るということを学ばせてもらいました。

仕事の楽しさは形が出来ていくのが分かるところで、辛さというのは、仕事はお金をもらってしていることなので、失敗が出来ないところです。一度の失敗でその計画が台無しになってしまうことがあるからということを学ばせてもらいました。

今回のインターンシップで一番思ったのが学校との違いです。

学校では万が一失敗してもやり直すことが出来ますが、社会は一度の失敗でたくさんの人に迷惑を掛けることになるので失敗は出来ません。そこが一番の違いだと思いました。

津軽

文 末武篤子
写真 菅原 正

春夏秋冬、日本には四季があります。その中でも津軽の秋には、冬に移り行くことへのうら悲しさや、実りの収穫へのはやる気持ちがあります。そして好むと好まざるとに係わらず、鉛色の空の下で長い冬を過ごすことになります。それならばと期間限定の秋色を探したり、早朝の赤い陽がさしこんだ時間帯にだけ見ることのできる絶景や、紅葉を目に焼き付けたいと誰もが思うのです。

スタンド・バイ・ミーを聴きながら

昨年の十月中旬、弘前市を出発し紅葉狩りに出かけました。黒石市を抜けて八甲田山を目指します。標高が上がっていくと早速、城ケ倉渓谷の深く雄大な絶景に出会えました。渓谷には三百六十メートルの橋が掛かっており、谷底からの高さは百二十メートルもあります。ブナ・ナラ・カエデの木々が色を競い合い、その息をのむほどの絶景を三百六十度の大パノラマで楽しむことができるのです。身も心も秋色を纏いながら城ケ倉渓谷をあとに、十和田湖方面へ向かいます。

青森から十和田湖に通じる道は国道になっていて、八甲田山地を縦断しており最高地点の笠松峠付近を除いて、道の沿線には夏緑広葉樹林が発達しているのです。酸ケ湯温泉、地獄沼、睡蓮沼、蔦温泉にかけては、ブナの森林の中を国道が通っている為、紅葉の最盛期に巡りあえたらそれは、キセキ。

実は有難いことに、そのキセキ的な紅葉を目のあたりにできたのです。折しも車内には映画「スタンド・バイ・ミー」の軽妙なテンポの曲が流れだしたのです。道の沿線には覆いかぶさるかのような赤や黄のカエデやブナの葉。天空に舞う落ち葉。ひとつも見逃したくない、目に焼きつけておきたいと無我夢中にさせる、荘厳で神秘的な絶景と音楽の相乗効果もあり、テンションは最高潮。

八甲田山・石倉岳のダケカンバと紅葉

しばらく車を走らせると蔦沼です。蔦沼周辺は十和田樹海と呼ばれるブナの原生林で囲まれており、多くの野鳥を観察することもできる散策路が整備されています。そしていよいよ目からウロコの奥入瀬渓流にさしかかります。ここは何ヵ所かは歩いて回りたいところです。

奥入瀬渓流は十和田湖の子ノ口から約十四キロメートルの流れで、豊かな樹木や十数ヵ所の滝があり、春の新緑がやがて、秋には多彩な紅葉へと変化します。

秋の奥入瀬渓流

渓流の流れはとても穏やかで安定しているため、渓流に掛かる橋や岩などは長い年月を経てコケでおおわれ、美しい造形美を作りだしているのです。

渓流を上流に向かって歩きながら、紅葉のみならずコケやシダの感触を楽しみ、自然の移ろいに身をおいた秋の一日でした。

奥入瀬渓流のコケ（岩肌）

特別寄稿

静岡県立池新田高等学校
サッカー部監督　大久保 翔 悟

池新田高校サッカー部では、合同合宿を通して『人の力』を大切にしています。

八月四日（土）～七日（火）まで富士宮北高校と合同合宿をさせていただきました。保護者が食事を準備し、マネージャーがサポートし、スタッフが環境を整え、選手が自分と向き合う『人の力』の大きさを改めて感じた四日間でした。四日間という短い時間でしたが、『限界を知る』『自分に負けない』『腹をくくる』『準備をする』『仲間をサポートする』事の意味について、自分自身と向き合い自問自答を繰り返す四日間となりました。時には自分に負けてしまい、悔しさのあまり泣いている選手もいました。

しかし、最終日には『人（自分）の力』を自分のためだけでなく、学校間を超えてチームの為に発揮しました。想像以上の自分と出会い、ここから変わっていく選手にますます期待しています。

健康診断

七月の安全週間期間中に社内にて健康診断が行われました。

結果を昨年の実績と比較してみると、血中脂質検査の数値が高い人が増加傾向にありました。脂質には総コレステロール・LDLコレステロール（悪玉コレステロール）・HDLコレステロール（善玉コレステロール）・中性脂肪があります。コレステロールは高すぎても低すぎても体に悪影響を及ぼします。バターやカップ麺、スナック菓子など脂肪分の多い食品の過剰摂取を避け、野菜や大豆製品、海藻やキノコ類をたくさん食べましょう。食物繊維にはコレステロールを取込んで排出する働きがあるので、数値が高い人はすすんで摂るようにして下さいね。

また、喫煙は善玉コレステロールの数値を下げてしまうことが分かっているのでタバコの吸い過ぎに気を付け、適度な有酸素運動を心がけましょう。

かかし祭りに向けて

連日のように暑い日が続いていますが『新野かかし祭り』の時期が近づいてきました。昨年度の作品に負けないよう製作委員を筆頭に頑張りたいと思います。

平成三十年
全国労働衛生週間
準備期間 9/1 ～ 9/30
本週間 10/1 ～ 10/7

チャレンジラリー150

今年も八月七日～来年一月三日までチャレンジラリー150に三人一組で五チームが参加します。

無事故・無違反を達成できるよう安全運転で頑張りましょう。

9月安全努力目標

年度安全標語《ヒヤリで良かったこの体験 次に生かそう危険予知》
全国労働衛生週間準備期間《9/1～9/30》
秋の全国交通安全運動《9/21～9/30》

作業安全
- 第三者に配慮した作業エリアの明示
- 熱中症予防対策の実施

交通安全
- 車間距離を取り、ゆとりある運転の実施

環境目標
- 退席時の電灯等の電源ＯＦＦを行いましょう

行事記録（7/27～8/26）

7/27 御前崎市建設業組合BBQ大会
7/30 農業施設（合戸・横舟地区）現場確認研修
8/1 橋守支援センター静岡総会・浜松
御前崎市建設業組合役員会
8/2 塩谷立君と明日の日本を語る会・浜松
8/4 御前崎みなと夏祭
8/6 高校生会社見学
8/8 安全研修会・袋井
袋井建協安全研修会・袋井
8/8～8/10 池高生インターンシップ受け入れ
8/13～8/15 夏季休暇
8/17 菊川警察署夏季特別訓練納会・菊川
御前崎市商工会合同会議
8/22 御前崎市商工会総務委員会・理事会
情報伝達訓練説明会・袋井
8/23 親子現場見学会・静岡

行事予定（8/27～9/26）

8/27 宮澤博行を励ます会・掛川
シーテック安全衛生協議会
8/28 技士会技術研修会・浜松
8/29 御前崎草木処理センター株主総会
御前崎市商工会青年部会
県下一斉情報伝達訓練
8/30 袋井土木・中遠農林優良建設工事等表彰式・工事現場安全管理講習会・袋井

誠熱創決
発行 増田組
TEL ○五三七－八六－三二四五
FAX ○五三七－八六－六六七五
Email masudagumi1@mail.wbs.ne.jp
URL http://www.masudagumi1912.co.jp